

概要

医療を担当する場としての医療施設には、病院・診療所・老人保健施設があるほか、広い意味で薬局・医療品販売業も含まれます。

病院・診療所・老人保健施設については、その分布と整備の実態を明らかにするために、「医療施設調査」や「社会福祉施設等調査」「介護サービス施設・事業所調査」等が実施されています。

また、病院・老人保健施設における患者・入所者・通所者等の利用状況については、病院や老人保健施設の管理者から「報告」が提出されています。

病院・診療所の施設数及び病床数の年次推移は、表1のとおりです。

1 病院

(1) 平成19年10月1日現在の病院数は146施設で、前年と比べて2施設減少しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対病院数は10.1(全国6.9)で、全国平均を上回っています。

なお、市部・郡部別にみると、市部10.3、郡部7.7となっています。

また、開設者別では、医療法人96施設(構成比65.8%)、個人2施設(同1.4%)、公的医療機関23施設(同15.8%)、公益法人13施設(同8.9%)、国4施設(同2.7%)等となっています。

(2) 平成19年10月1日現在の病院の病床数は23,218床で、前年に比べ234床減少しました。人口10万対病床数は1,599.0床(全国1,268.0床)です。

なお、病床を種類別にみると、一般病床12,284床(人口10万対846.0床)、精神病床5,220床(同359.5床)、結核病床153床(同10.5床)、感染病床26床(同1.8床)、療養病床5,535床(65歳以上人口10万対1,512.3床)となっています。

(3) 平成19年中の病院の利用状況をみると、在院患者延数は7,083,219人(前年7,291,569人)、平均在院日数は39.3日(同39.5日)、人口10万対1日平均外来患者数は1,503.3人(同1,564.4人)となっています。

また、病床利用率についてみると一般病床が79.4%(前年81.0%)、精神病床が86.6%(同89.2%)、結核病床が21.6%(同18.8%)で、全体では83.2%(同84.9%)となっています。

2 一般診療所

- (1) 平成19年10月1日現在の一般診療所数は1,246施設で、前年と比べて20施設増加しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対一般診療所数は85.8(全国77.9)で、全国平均を上回っています。
- (2) 平成19年10月1日現在の一般診療所の病床数は4,874床で、前年に比べ252床減少しました。人口10万対病床数は335.7床(全国121.4床)で、全国平均を大幅に上回っています。

3 歯科診療所

平成19年10月1日現在の歯科診療所数は692施設で、前年と比べて2施設増加しています。人口10万対歯科診療所数は47.7(全国53.1)で、全国平均を下回っています。

4 薬局・医薬品販売業

- (1) 平成19年度末現在の薬局数は526施設です。
- (2) 平成19年度末現在の医薬品販売業を業種別にみると、一般販売業216(卸売を含む)、薬種商販売業148、配置販売業100、特例販売業94となっています。

5 介護老人保健施設

平成19年10月1日現在の介護老人保健施設数は前年と同数の62施設でした。入所定員数も前年と同様、4,971人でした。

6 訪問看護ステーション

平成19年10月1日現在の訪問看護ステーション数は76施設で、前年と比べて3施設減少しました。